

# 岡井隆歌集一覧 (平成の23冊)

2023年「未来」名古屋大会資料

2023年10月7日

No	序数	タイトル	刊行	出版社	備考
1		O(オー)	1972 昭和 47 年 6 月	思潮社	『岡井隆歌集』に収録
2	1	斉唱	1956 昭和 31 年 10 月	白玉書房	第一歌集。
3	2	土地よ、痛みを負え	1961 昭和 36 年 2 月	白玉書房	暗喩の導入・連作志向
4	3	朝狩	1964 昭和 39 年 7 月	白玉書房	暗喩の導入・連作志向
5		木曜便り	1972 昭和 47 年 6 月	思潮社	詩型論の試み。定型解体。『岡井隆歌集』に収録
6	4	眼底紀行	1967 昭和 42 年 9 月	思潮社	詩型論の試み。定型解体。
7	5	天河庭園集	1972 昭和 47 年 6 月	思潮社	『岡井隆歌集』に収録
8		天河庭園集	1978 昭和 53 年 4 月	国文社	詩型論の試み。定型解体。福島泰樹が第5歌集と位置づけ
9	6	鶯卵亭	1975 昭和 50 年 7 月	六法出版社	
10	7	歳月の贈物	1978 昭和 53 年 4 月	国文社	詞書きの試み。
11	8	マニエリスムの旅	1980 昭和 55 年 5 月	書肆季節社	詞書きの試み。 詞書きが短歌になっている。
12	9	人生の視える場所	1982 昭和 57 年 8 月	思潮社	詞書きの試み。
13	10	禁忌と好色	1982 昭和 57 年 12 月	不識書院	詞書きの試み。
14	11	αの星	1985 昭和 60 年 9 月	短歌新聞社	
15	12	五重奏のヴィオラ	1986 昭和 61 年 9 月	不識書院	
16	13	中国の世紀末	1988 昭和 63 年 7 月	六法出版社	
17		天使の羅衣(ネグリジェ)	1988 昭和 63 年 10 月	思潮社	佐々木幹郎との組詩
18	14	親和力	1989 平成 1 年 10 月	砂子屋書房	
19	15	宮殿	1991 平成 3 年 10 月	沖積舎	1993年から歌会始選者となる
20	16	神の仕事場	1994 平成 6 年 9 月	砂子屋書房	ニューウェーブのレトリックを多用した歌集
21	17	夢と同じもの	1996 平成 8 年 6 月	短歌研究社	あとがきには「著者としては十六番目の歌集」とある
22	18	ウランと白鳥	1998 平成 10 年 3 月	短歌研究社	1997年11月2日、武蔵大学白雉祭にて朗読会 「朗読には、何の未来もないと思つてみたぼく自身の考へを、かなりつよく、改変させるイベントであつた」 岡井隆『挫折と再生の季節』
23	19	大洪水の前の晴天	1998 平成 10 年 9 月	砂子屋書房	あとがきに「第十九番目の歌集」とある
24	20	ヴォツェック／海と陸	1999 平成 11 年 3 月	ながらみ書房	短歌の朗読が初出になる。「朗読のためのデッサン」
25	21	臓器(オルガン)	2000 平成 12 年 12 月	砂子屋書房	精力的な朗読会が歌集に反映している。
26	22	E/T	2001 平成 13 年 10 月	書肆山田	レイアウト短歌。新作100首
27	23	〈テロリズム〉以後の感想/草の雨	2002 平成 14 年 9 月	砂子屋書房	「築地といふトポスへのおもひ文」 (2001年4月28日築地本願寺 仏教会館にて朗読) 『連鎖する歌人たち～マラソン・リーディング2001～』
28	24	旅のあとさき、詩歌のあれこれ	2003 平成 15 年 7 月	朝日新聞社	ジャンル越境。歌集解体。新作110首+エッセイ
29	25	伊太利亜	2004 平成 16 年 2 月	書肆山田	横書きレイアウト短歌。新作144首
30	26	馴鹿時代今か来向かふ	2004 平成 16 年 10 月	砂子屋書房	
31	27	二〇〇六年 水無月のころ	2006 平成 18 年 12 月	角川書店	
32	28	家常茶飯	2007 平成 19 年 1 月	砂子屋書房	帯には「第二十六歌集」とある。宮内庁御用掛となる。
33	29	初期の蝶/「近藤芳美をしのぶ会」前後	2007 平成 19 年 5 月	短歌新聞社	歌集解体。初期作品+新作204首
34	30	ネフスキイ	2008 平成 20 年 10 月	書肆山田	
35	31	X(イクス)-述懐スル私	2010 平成 22 年 9 月	短歌新聞社	
36	32	静かな生活	2011 平成 23 年 6 月	ふらんす堂	
37	33	へい龍カム・ヒアといふ声ができる(まつ暗だぜつといふ声が添ふ)	2013 平成 25 年 7 月	思潮社	ジャンル越境。短歌582首、詩、エッセイ、対談、評論
38	34	銀色の馬の鬣	2014 平成 26 年 11 月	砂子屋書房	あとがきに「三十一番目の歌集とも、三十二番目の作品集ともいへる」とある
39	35	暮れてゆくパッサハ	2015 平成 27 年 7 月	書肆侃侃房	ジャンル越境。短歌230首、詩、エッセイ、水彩画
40	36	鉄の蜜蜂	2018 平成 30 年 1 月	角川書店	帯には「第三十四歌集」とある。
41		あばな	2022 令和 4 年 7 月	砂子屋書房	遺歌集